

各地区で地区展・コンテストを実施



今年度は中信地区展を5月30日～6月1日に松本市美術館で、東北信地区展を6月7日～8日に長野市もんぜんぷら座で開催しました。また南信地区は6月7日にコンテスト審査が実施されました。

中信地区・東北信地区は、写真家の清田一樹先生をお迎えし、写真展の最終日に審査および写真教室を行いました。

中信地区では、写真の審査においては写真の撮り方やカメラを使いこなしているかを見る技術的な面と、鑑賞者の感情に訴えかけたり、テーマに沿った仕上がりになったりしているかを見る芸術的な面がある、というお話をさせていただきました。また「私たちが生きる今」を写真で切り取ってもらいたいともおっしゃっていました。審査について話をされた後は、参加者1人1人の写真について丁寧にコメントをいただきました。

東北信地区では、テーマを強調しつつも作画的な部分が見えないようにすることや、展示物撮影では製作者の意図を切り離して描写することの大切さも語っていただきました。「大変良い写真が多く、見応えがありました」とのコメントもいただきました。

また南信地区コンテスト審査員の上島勝幸先生からは、「今回はコンテストという形での審査なので、どうしても順位をつけざるを得ず大変だったが、生徒さんたちが全般的にがんばっている。風景や花の写真は、画角的に惜しいものもあったが、今後たくさんシャッターを切って欲しい。作り込みの写真はユニークで自身の感覚にないものが多く楽しかった。これからも楽しく写真を撮って欲しい」とのコメントを頂戴しました。

今回は中信地区133点、東北信地区90点、南信地区113点の応募がありました。審査結果は別紙をご覧ください。なお、入賞作品は秋に開催される長野県高等学校写真展の入賞ノミネート候補作品となります。

